市民のための一次救命処置（BLS）ガイド

傷病者を発見した際の安全確認から胸骨圧迫、AEDの使用までの一次救命手順を迷わず正しく実行できるようにする。

1 周囲の安全と反応を確認する



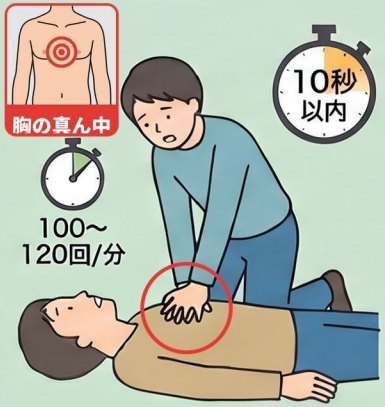
- 肩をやさしくたたき、大声で呼びかけます。
- 応答や目的のある仕草がなければ反応なし。
- 迷うときも反応なしとして動きます。

2 119番通報とAEDの手配を依頼する



- 大声で応援を呼び、119番通報とAEDの手配を頼みます。
- 1人なら自分で通報し、すぐ近くにAEDがあれば取りに行きます。

3 呼吸を確認し胸骨圧迫を開始する



- 普段どおりの呼吸か、10秒以内で確認します。
- なければ（迷っても）、胸の真ん中を約5cm、100〜120回/分で押します。

4 AEDを装着し音声指示に従う



- パッドを貼る間も胸骨圧迫を続けます。
- 解析中は体に触れません。
- 電気ショック後は、すぐ胸骨圧迫を再開します。

5 こんなときは 窒息時は背部叩打法等で異物除去



- 咳ができれば、強く咳をさせます。
- できなければ背部叩打法と腹部突き上げ法を繰り返します。
- 反応がなくなれば、すぐ胸骨圧迫を始めます。

総務省消防庁

応急手当WEB講習

スマホやパソコンで、応急手当を動画で学べます。

ホームページ

総社市消防本部

救命講習や消防の情報はこちらから。

総社市消防本部　令和8年11月作成（JRC蘇生ガイドライン2025準拠）

応急手当の実践ガイド：一次救命処置と気道異物除去の注意点

命を救うことを最優先に、状況に応じた適切な配慮と絶え間ない処置を実施する。

配慮と特殊状況でのAED装着



- 濡れた胸は拭く。
- 貼り薬は剥がす。
- 植え込み器具からは離して貼る。
- プライバシーに配慮し、素肌への貼付を優先する。

未就学児・乳児へのAED使用法



- 未就学児用パッドを使い、小学生以上には使わない。
- 未就学児用パッドがない場合は、小学生～大人用パッドで代用し、乳児は胸と背中に貼る。

オートショック器と継続救命



- 解析中は体に触れず、音声の指示に従う。
- 救急隊に引き継ぐか、普段どおりの呼吸が戻るまで心肺蘇生を続ける。

異物除去と反応消失時の対応





- 妊婦・高度肥満者は、背部叩打のみ行う。
- 乳児は頭を下げ、背部叩打と胸部突き上げを交互に行う（腹部突き上げはしない）。
- 反応がなくなったら、直ちに心肺蘇生を開始。

総社市消防本部　令和8年11月作成（JRC蘇生ガイドライン2025準拠）

オートショックAEDロゴ（画像提供：JEITA 一般社団法人 電子情報技術産業協会）